

# サイクルスポーツセンター

サイクルスポーツセンター

## 第16回CSC5時間耐久チームサイクルロードレース

### 【最終要項】

＜開催日：2013年7月15日（月・祝）＞

**この最終要項をお送りした封筒をお持ちいただき、受付の際にご提示ください。**

- ★スタート前の試走が義務化されています。遅れないようにご集合ください。（8:30）
- ★コース内駐車場へのチームカー乗り入れをお申込みのチームは、受付の締切が早いのでご注意ください。（7:00（車両入場は7:15まで）。お申込みでないチームは7:30。）

#### 【大会概要】

大会名称 第16回CSC5時間耐久チームサイクルロードレース大会  
 主催 (一財)日本サイクルスポーツセンター  
 後援 サイクルメッカ伊豆推進協議会  
 協賛 株式会社タイヨーラボ・月刊「ニューサイクリング」・株式会社パールイズミ・山本光学株式会社  
 (順不同) 株式会社オージーケーカブト・株式会社ナガオカ・ジオライドジャパン株式会社  
 三井農林株式会社・有限会社Vittoria Japan・引越専門共同組合・株式会社ベネックス  
 株式会社トシンパートナーズ・株式会社ケッツトレーナー・株式会社ウェイブワン  
 株式会社グラフィックデザイン・大塚製薬株式会社・株式会社タキザワサイクル  
 ゼータレーディング有限会社  
 協力 日本競輪学校・有限会社ケズ・プロショップナカムラ・沼津トライアスロンクラブ  
 開催日時 2013年7月15日（月・祝） スタート予定 10:00  
 大会会場 日本サイクルスポーツセンター  
 競技部門

部門	カテゴリー		
5時間	男子	女子	混合
5人	○	○	○
4人	○	○	○
3人	○	○	○
2人	○	○	○
1人	○	○	-

参加資格 高校生以上の健康な男女（該当しない方で出場希望の方はお問い合わせください。）  
 大会事務局 〒410-2402 静岡県伊豆市大野1826 日本サイクルスポーツセンター内  
 「5時間耐久サイクルロードレース大会事務局」 TEL:0558-79-0004 FAX:0558-79-0036  
 E-mail: cscshinkou@csc.or.jp URL: http://www.csc.or.jp/

お問い合わせ	7月14日（日）まで	0558-79-0004
	7月15日（月・祝）	0558-79-0006

#### 【スケジュール】

項	目	開始時刻	終了時刻	場所 その他
前日	前日受付(出場手続)※1	15:30	16:30	正門前で受付を行います。
14日	コース試走	15:30	17:30	受付をし、正門よりご入場ください。
受付	コース内駐車場申込みチーム	出場手続 6:00	7:00	受付で駐車許可証を受け取ってください。
	※2	車両入場 6:30	7:15	車両入場口は指定時刻で閉鎖します。
	コース内駐車場を申し込んでいないチーム	出場手続 6:00	7:30	正門よりご入場ください。
正門開門		6:00		受付後ご入場ください。
開会式・競技説明(全選手試走準備で集合)		8:30		乗車できる状態でご集合ください。
コース試走(義務)		8:45	9:30	
チップテスト		9:00	9:30	スタートゲートをチップを付けて通過してください。
フリー走行		試走後	9:30	9:30までにピットに戻れるようにしてください。(最終スタート9:15)
スタートライダー集合		9:55		
スタート		10:00		ローリングスタート※3
競技終了(最終走者フィニッシュ予定)		15:00	(15:22)	
表彰式・抽選会		15:30	16:30	スタンド付近

- ※1 受付は前日、若しくは当日の朝の決められた時間内に行ってください。
- ※2 コース内駐車場へのチームカー乗り入れは時間が限定されます。遅刻した場合は、大駐車場に駐車していただくことになります。駐車料金の返金はできませんので、ご了承ください。
- ※3 先導車が一定の場所まで誘導し、走りながらスタートする方法です。

**【大会会場】**

**日本サイクルスポーツセンター**  
 静岡県伊豆市大野1826番地  
 TEL 0558-79-0001  
 URL <http://www.csc.or.jp/>

●車で(通常時)

**【東名高速道路沼津I.Cから45分】**

国道136号線から伊豆中央道(有料)經由  
 大仁中央I.Cより伊東方面に8km

**【小田原から60分】**

箱根～伊豆スカイライン亀石峠I.Cから  
 大仁方面へ3km

**【熱海から50分】**

国道135号線 宇佐美から大仁方面へ11km

●電車で

**【東海道新幹線 - 伊豆箱根鉄道駿豆線】**

三島から伊豆箱根鉄道駿豆線  
 修善寺からバス利用

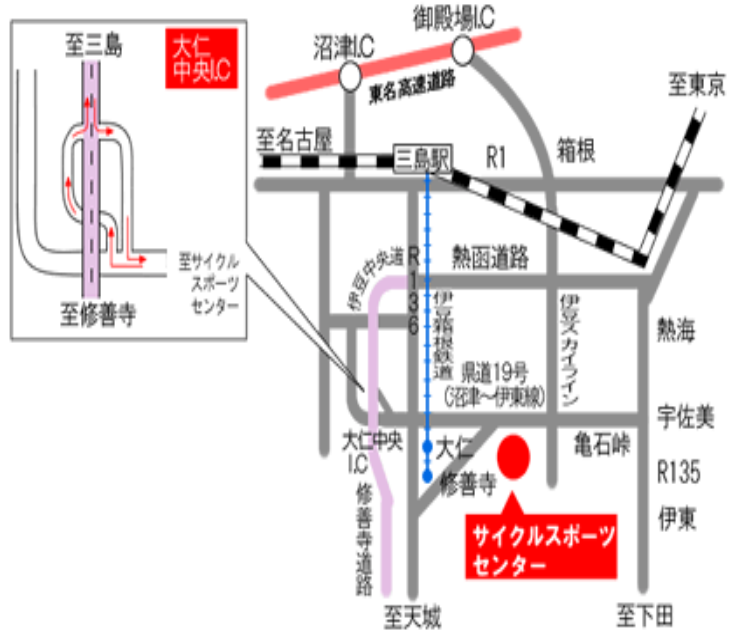
**【東海道新幹線 - 伊東線】**

熱海から伊東線  
 宇佐美からタクシー利用30分

●バスで

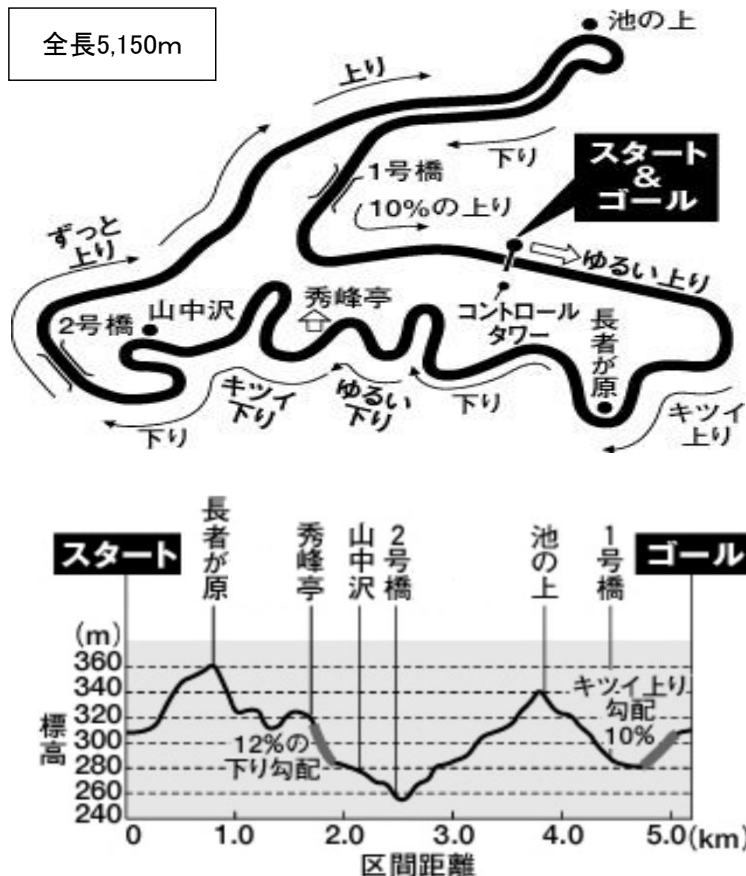
**【東海バス】**

伊豆箱根鉄道 修善寺駅から  
 東海バスで15分(毎日運行)



**【コース図】**

★通常と逆周り(時計回り)です。テクニカルなコースになります。なるべく前日に試走することを薦めます。



## 【会場案内図】



## 【注意事項】

### 1、受付

1) 選手登録時には、この最終要項をお送りした封筒をご提示ください。

(受付はチームの代表者のみお越しください。)

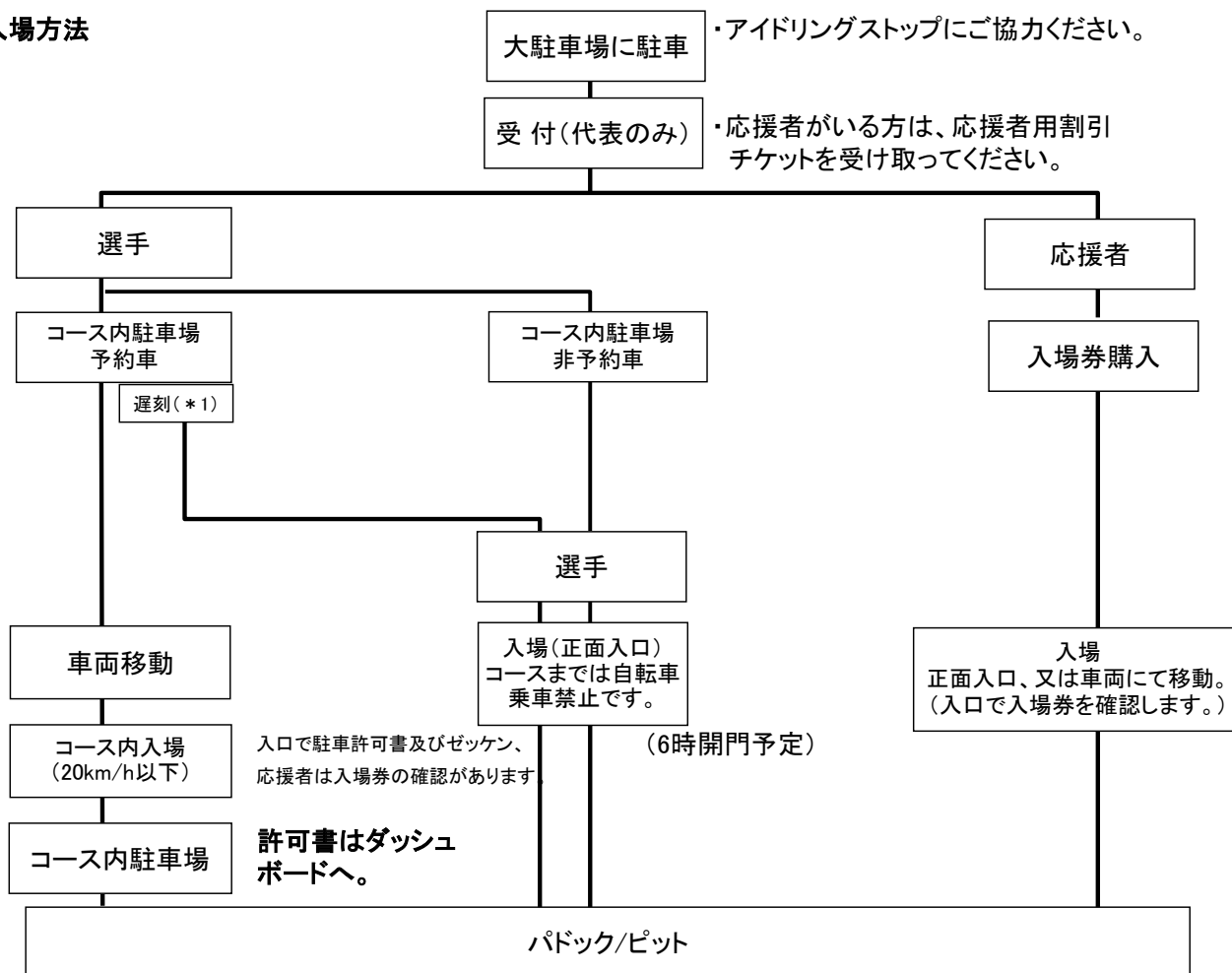
2) ナンバーカード引渡し (中身をご確認ください。)

・レースナンバー ・ヘルメットシール ・計測タグ(1つ) ・各種記念品 ・プログラム ・その他資料  
(レースナンバーが入場券及び「ゆ〜サロン」入浴割引券となります。)

※応援者は別途入場券が必要です。割引券を発行しますので、受付で申告してください。

(入場券ではありません。お渡しする割引券で入場券をご購入の上、ご入場ください。)

### 2、入場方法



※3連休の最終日です。渋滞による遅刻にご注意ください。

#### <コース内駐車場をお申込みの方へ>

1) 駐車場申込者で受付を7:00までに済ませていても、車両の入場口は7:15で閉鎖されますのでご注意ください。

2) コースの一部を移動してピットに向かいます。コース内は20km/h以下で走行してください。

3) 駐車場所とピットの場所は近いとは限りません。(約50~300m)

4) 駐車場の場所取り、希望申請はできません。

\* 1: 遅刻の場合、車両はコース内に入れません。また、返金できません。

\* 2: 運転手が応援者の場合、応援者用割引チケットを購入の上、車両移動してください。

5) 駐車後は、大会終了後主催者側からの許可が出てからでないと移動はできません。

(入場したルートと退場するルートは異なります。退場ルートは当日お知らせします。)

### 3、参加者特典

1) 応援者の入場料、選手・応援者の温泉入浴料が、割引になります。

		※1入場料		※2ゆ～サロン入浴料	
		通常	割引	通常	割引
選手		-	-	¥800	¥500
応援者	中学生以上	¥800	¥500	¥800	¥500
	4歳以上	¥600	¥300	¥600	¥400
	4歳未満	無料	無料	無料	無料

※1 応援者入場料： 受付で発行する割引券を使用し、発券口で入場券を購入してください。

※2 入浴料： 選手はレースナンバーを、応援者は入場券を提示してください。

#### <ゆ～サロンのご利用について>



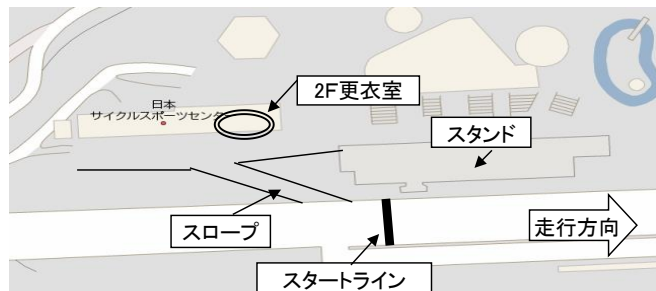
##### 効能

泉質 単純温泉(低張性、弱アルカリ性、高温泉)  
 泉温 採取地 56.3度C  
 適応症 創傷、火傷、皮膚掻痒症、角化症、リウマチ性疾患、  
 運動器障害、神経麻痺、神経症、病後回復及び疲労回復

・営業は20:00最終受付です。

### 4、更衣室

- 1) レンタル施設の2階に更衣室があります。(貴重品等は置かないください。)
- 2) 館内はバイクシューズ禁止です。
- 3) 飲食、喫煙は禁止です。
- 4) 7:00～16:00です。(紛失等について主催者側では責任を負いません。)



### 5、計測タグの扱い

- 1) 計測タグが、タスキ代わりになります。足首につけてください。(左右は問いません。)
- 2) 競技終了後、リタイア後、必ず本部までご返却ください。紛失すると実費(¥15,000)を請求させていただきます。

### 6、表彰式・結果発表

- 1) 表彰式はスタンド付近で行います。
- 2) 速報は本部付近掲示板にて発表します。
- 3) 各チームの正式結果は、後日事務局ホームページに掲載します。

### 7、飲食について

- 1) 暑い時期です。飲食料の管理は各自で充分注意して行ってください。(エイドステーションを用意しますが、必ず各自で飲物等を用意してください。)
- 2) 飲酒しての走行は失格となります。
- 3) 食事はレストラン富士見にて食べることができます。ご利用ください。

### 8、緊急時の対応について

- 1) 緊急時救急車が入る場合は、競技中でも一時競技を止め、救急車を優先して通行させます。止まっている時間については競技時間に含まれますが、事態をご理解の上、ご了承ください。
- 2) 大会開催中、変調をきたした選手を見かけた場合は、すぐにお近くのスタッフに声をかけてください。  
**<熱中症対策を十分に！>** (大会加入の傷害保険には、約款により熱中症などの疾病は保険対象外となります。)

・暑い日が予想されます。レース前から十分な水分を補給しましょう！

・応援者も帽子をかぶり、水分補給をこまめに行いましょう！

### 9、テント等の設置について

- 1) テントを設置する場合は、必ず重しをつけるなど、各自の責任をもって飛ばないようにご注意ください。重大な事故に発展する場合があります。
- 2) テントのない方はスタンド下等の日陰を利用し、暑さや雨等の対策をおとりください。

### 10、レンタル自転車について

- 1) レンタル自転車はエントリーと一緒に事前申し込みをされた方のみとなります。
- 2) レンタル自転車は5kサーキット内のコントロールタワー内にてご用意してあります。
- 3) 当日自転車のトラブル等によりレンタル自転車が必要な方は1台1,500円です。大会本部にて自転車を用意してありますので、レンタル代金をお支払ください。



## 11、その他

1) 本大会では、傷害保険に加入しています。

※保険について(1名あたりの保険金額)

死亡500万円、入院5千円/日、通院3千円/日

(熱中症・低体温症などは保険対象外となりますのでご了承ください。その他詳細は保険約款に従い対応させていただきます。)

2) より万全にするためには、別途個人で保険にご加入なさることをお勧めします。

3) スケジュール変更、ローカルルールの適用追加などがあった場合は、本部に掲示します。

4) ゴミは各自お持ち帰りください。

5) 付添者による伴走の応援はできません。

6) 競技中は、コース案内板を厳守し、スタッフの指示に従ってください。

7) 貴重品等は各自で管理してください。

### 【競技規則】

●本大会は、(公財)日本自転車競技連盟(JCF)の規則を参考に、本大会競技規則によって実施します。

#### 1、チーム構成

1) 1～5人で構成することができます。性別は問いません。

2) 混合で女子の人数によるカテゴリー分けはありません。

#### 2、順位判定

1) 5時間で最も周回数が多いチームが優勝となります。

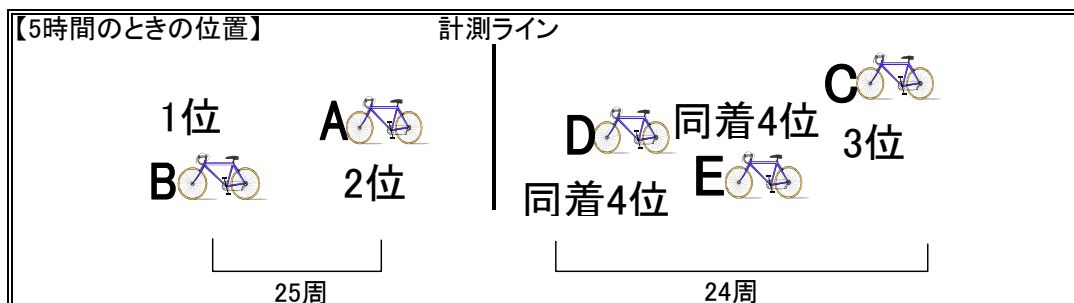
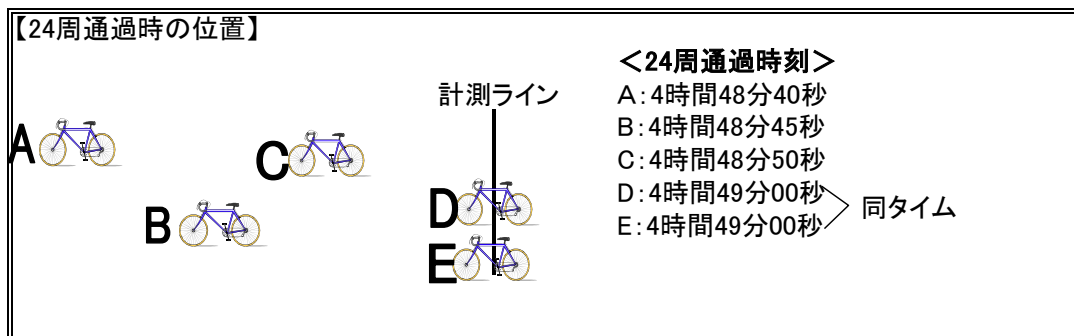
2) 周回が同じ場合は、計測ラインの通過が早いチームが上位となります。

3) 同周回、同タイムの場合は、同順位となります。強化費は按分されます。

#### ◆着順・計測規定

・計測ラインは、メインスタンド前特設ゲートとし、計測器がそこを通過した時点とします。

<例> A～Eの5チーム内での順位決定



A、Bは25週の計測ラインを通過しているので、周回数は25周で同じ。

ただし、25周通過時はBがAより先着しているため、Bが1位。

C、D、Eは25週の計測ラインを通過する前に5時間になっているので、周回数は24周となる。

ただし、24周時の通過は、CがD、Eより先着しているためCが3位。

DとEは、5時間時には差があるが、24周時は同着なので、同順位で4位となる。

### 3、最低周回数

1) チーム構成人数、性別で必須最低周回数は設けておりません。

### 4、公式計時

1) 公式計時は計測ラインに設置したコンピューターで行います。ゲート付近の大時計は参考計時となります。

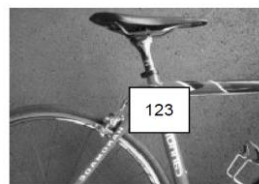
### 5、ウェア・機材

1) ヘルメット: (公財)日本自転車競技連盟公認等の自転車競技用のヘルメットを着用してください。違反者は出場を認めません。(ヒビ割れや、破損しているヘルメットにつきましても出走を認めません)

※工用ヘルメットなどを持ち込む例も見られます。命を守る重要なアイテムですので、ルールをお守りください。

2) ナンバーカード: 受付時にお渡しします(安全ピン付)。下図のようにつけてください。

大きさは変えないでください。



ウェア(両脇)

ヘルメット

自転車

3) ウェア: 安全に乗車できる服装でご参加ください。(仮装する場合は安全を最優先してください。危険と判断される場合は、その服装での乗車を認めない場合があります。また裸で(上半身だけでも)走行することは禁止です。

4) 自転車: フリーホイール式の人力駆動の自転車で、前後輪に正常に作動するブレーキがついていること。基本的にはロードレーサー、MTB、クロスバイクに限ります。(上記に該当しないものは、お問い合わせください。シティサイクル(いわゆる「ママチャリ」)では出場できません。)

5) ハンドル: ハンドルバー、ステムは危険性の無い形のもの。(先端はキャップなどで塞いでください。)ただし、以下のタイプのハンドルは使用できません。

▼DHバー ▼ブルホーン ▼クリップオン ▼エンドバー

▼ドロップハンドルやフラットバーハンドルにアタッチメント式で取り付けるタイプ

▼前方に突き出したハンドル 等

※空気抵抗を軽減するため、両腕を肩幅より狭いポジションにおくハンドルや、エンド部分が突き出したタイプでのハンドルは使えません。

#### ●禁止ハンドルの例



DHバー及びブルホーン

クリップオン

エンドバー

6) 検車はありませんが、各自の責任において必ず大会前に自転車店等で点検・修理・調整を行ってください。

7) サイクルショップナカムラによるメカニックサービスをご用意します。交換部品につきましては有料となりますがその他、困ったことがありましたらご利用ください。

## 6、試走

- 1) コース試走を義務とします。前日又は、大会当日に試走を行ってください。  
大会当日は先導バイクの誘導により1周回の試走を行います。

### <試走義務化の理由とお願い>

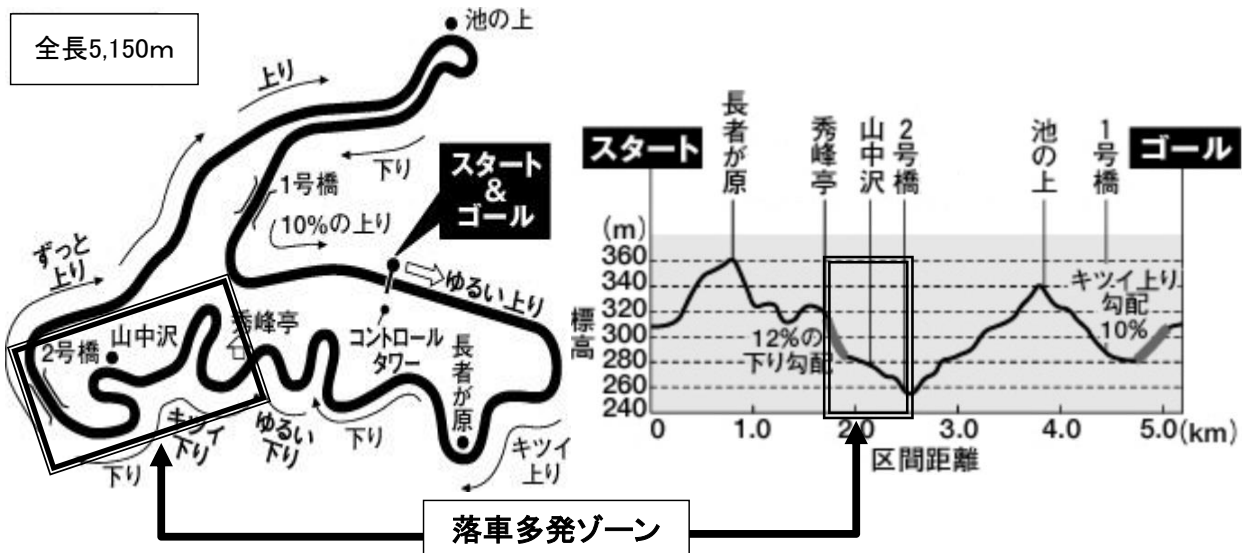
過去の大会では、落車はスタート後2時間以内に集中しており、各選手の走行開始から間もない段階で起きています。また、コースを試走していなかったために大きな落車事故につながるケースも見られました。そのため、スタート前の試走を義務化させていただいております。

### 【落車について】

- 濡れた路面の場合は特に注意してください。
- 集団がばらける前(1~2周目)、集中力が途切れる中盤は落車が多くなります。
- 各自の序盤の周回は、体力があり、強引な走行による落車があります。
- 自分の技術を過信せず、安全な走行ラインを守ってください。

### 【落車が多いエリア】

秀峰亭から先の逆バンク(コーナーの路面に傾斜がない)のコーナーは最も落車が多いポイントです。下りである上に、外に自然にふくらみますのでご注意ください。



## 7、スタート

- 1) 先導バイクが誘導し、2号橋付近でのバイクの合図で一斉にスタートするローリングスタートです。
- 2) 先導を追い抜くと、ペナルティの対象となる場合があります。
- 3) スタート後30分間はライダーチェンジ禁止です。
- 4) ローリングスタートまでに転倒事故等が起きた場合は再スタートになる場合があります。(審判・スタッフの指示にしたがってください。)
- 5) スタート時刻に遅れた場合は、遅れた分をロスタイムとして計測します。

## 8、走行方法

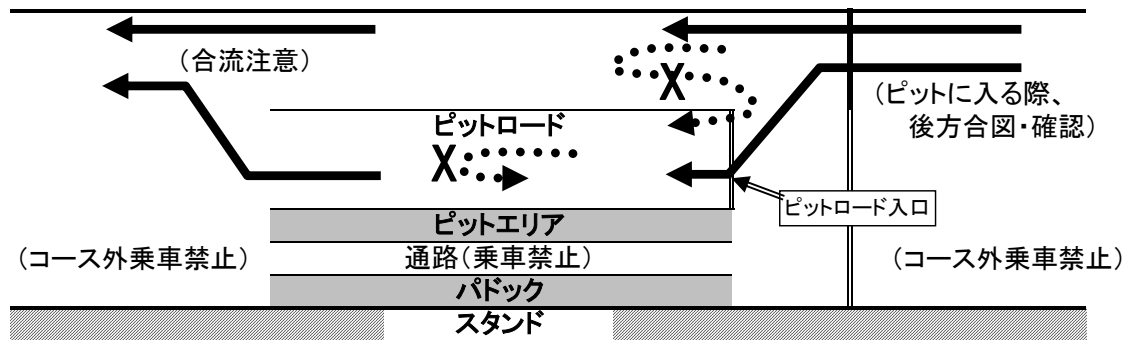
- 1) 競技中、試走中にコースを逆走することは、一切禁止します。
- 2) 急な進路変更、急停止、蛇行・逆走等の危険走行、及びショートカットを禁止します。
- 3) 追い抜きをする時は、原則右側から追い抜くものとします。声をかけて抜いてください。  
走行中、自分の走行ラインを変更する場合、必ず変更する側の後方確認を行い、安全を確認することを義務付けます。
- 4) 違反等の危険なライダーに対しては審判がピットインの指示をします。
- 5) 速度の遅いライダーは、速度の速いライダーに無理して後に付くことはしないでください。(特に下りでは、自分の技量に合った速度、走行ラインで走ってください。)
- 6) タンデム車が走行しております。ホイールベースが違いますのでコーナーでは気を付けてください。

## 9、ライダーチェンジ(選手交代方法)

- 1) 足首の計測タグの取り外し、取り付けにより、リレーを行います。
- 2) ライダーチェンジは、指定のピット内で自転車完全に停止した状態で行なってください。
- 3) 計測タグを足首に装着せずレースを行っている場合成績に反映されませんのでご注意ください。(手に持つての走行や、ハンドルに着ける等した場合は成績に反映せず、ペナルティとします。)



## 10、ピット(選手交代場所)



- 1) ライダーチェンジやトラブル等でピットに戻る時はピットロード入口から入ってください。
- 2) コース上、ピットロードとも**逆走厳禁**です。通り過ぎた場合は、もう1周走ってください。
- 3) ピットロード内は、20km/h以下で走行してください。
- 4) ピットロード内は、**追い越し禁止**です。
- 5) ピットにて止まった選手は、必ず後方から走行してくる選手がいないか確認してからスタートしてください。
- 6) ピットロードはピットロード開放の指示が有るまでは当該ライダー以外立入りを禁止です。
- 7) ピット内に自転車以外を置く事は禁止します。
- 8) ピットロードに入ってからライダーへの指示・応援等は禁止です。
- 9) ピット内は禁煙です。
- 10) 審判・スタッフの指示に従わない、違反行為がある場合は、ペナルティとなる場合があります。

### <ピットロード閉鎖・ピットロード開放>

- 1) **スタート後30分間、ゴール15分前はピットロードを閉鎖します。**
- 2) ゴール15分前の閉鎖前にピットインしたチームはピットアウト出来ます。
- 3) 閉鎖時間中に体調不良、及び機材故障を起こしたライダーはピットインし、ライダーチェンジができます。(スタッフの指示に従ってください。)
- 4) 競技終了後、アナウンスがあった後にピットロードを開放します。

## 11、パドック(選手控え場所)、通路

- 1) パドックは、選手全員で使用しますので場所を譲り合って、テント等の拠点を作ってください。
- 2) テントには、おもり等をつけ飛ばされないように注意してください。
- 3) 通路は乗車禁止です。
- 4) 車立を用意しますので自転車は車立にかけ、通路には物を置かないでください。

## 12、携行品、携行飲食物

- 1) ライダーは、スペアタイヤ(チューブ)、修理用具、腕時計等は携行できますが、ガラス容器、その他危険物は携行できません。
- 2) **ペットボトルの携行はできません。**自転車専用のボトルを携行してください。
- 3) ボトルは専用のゲージに入れてください。ウェアのポケットに入れての走行は禁止します。
- 4) ピット以外で飲食物を含む補給を受け取ることはできません。
- 5) 走行中にボトル等を落とした場合は停止しないで、コース上のスタッフに連絡して下さい。落とし物が回収された場合は本部で渡します。
- 6) コース脇等にゴミを棄てないでください。**1件につき5,000円のペナルティー**を取ります。

## 13、コース途中でのトラブル対応

- 1) コースの途中で何らかの理由により下車したライダーは、他人の補助を受けずに、自転車を担ぐ、または押して競技を続けることができます。
- 2) コースの途中で、チームのメンバーの交代を求める場合は、巡回審判員、スタッフにその旨を告げ、本部経由でチームに事情を伝え、交代ライダーを指定地点まで向かわせることができます。合流した地点で計測タグを交換し、そこからレースを再開することができます。
- 3) レースからリタイヤの場合→競技規則19.リタイヤの項参照

## 14、レース結果発表

- 1) 表彰対象者の順位は競技終了後、表彰式にて発表します。
- 2) 発表された順位結果に対する抗議は一切受け付けません。

## 15、ペナルティ

- 1) 違反や危険行為があったと判断された場合は、注意、警告、ペナルティを受けることになります。ただし、逆走などの危険行為は即ペナルティとなる場合があります。

逆走・ショートカット	3周減	
ピットロード内での違反及びチップの受け渡しにおける違反	1周減	
ピット閉鎖時のピットイン	1周減	(自転車及び体調不良を除く)
その他危険行為	1周減	
飲酒しての走行	当該選手が所属するチームの失格	

ただし、行為の内容により、審判長の判断でペナルティの内容が変わる(増減または失格)場合があります。周回減の下限は「0」です。(マイナスにはなりません。)

## 16、抗議

### (1) 抗議方法

- 1) 参加者は自分が不当に処罰されたと判断した場合は、内容を明確にし書面により本部経由で競技審判長に提出してください。但し、本規則または他の付則に規定された内容や審査員に対する抗議は受けません。役務に付いている競技役員(スタッフ)は、たとえ抗議書が提出された場合でも、それと関係なく自分の権限と義務を正に執行する事ができます。参加車両に対する抗議は、抗議対象箇所を明確にし書面により競技審判長に提出してください。

### (2) 抗議の制限

- 1) 車両又はライダーの参加資格に対する抗議は、スタート2時間前までに提出しなければなりません。
- 2) レース中の抗議は、ペナルティを宣告されてから2時間以内に書面により提出しなければなりません。

### (3) 抗議の裁定

- 1) 競技審判長及び大会審査委員会の裁定結果は、関係当事者にのみ口頭をもって通知します。
- 2) 審査の結果ただちに裁定が下されない場合は、発表の日時を明示して延期することが出来ます。
- 3) 本規則に対する違反の罰則宣言は、競技審判長が行います。ピットイン停止・周回数減算・失格・出場停止等が違反の軽重に応じて適用されます。
- 4) 競技者は大会規則、競技運営上あらゆる規定、競技役員の指示に従うものとします。競技審判長は、規則違反した競技者を失格にさせる権利を持ちます。
- 5) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、公平に行動し、言動を慎むものとします。また、薬品等によって精神状態をつくろってはなりません。

## 17、競技内容の変更及び中止

- 1) 気象状況などにより、大会開催が危険と判断される場合は、大会当日9:00に、主催者より受付及び本部にて競技時間などの変更、または中止を発表します。
- 2) 中止又は競技時間が変更になった場合でも参加費は返金されません。
- 3) 天候の急変などで、途中で競技を打ち切る場合があります。その場合の結果等については主催者、審判団、事務局で協議し決定します。

## 18、メンバーの変更、不足について

- 1) メンバーが急遽欠場した場合は、受付時にメンバー変更を申し出、代替選手を起用できます。ただし、誓約書に署名捺印をした場合に限りです。着順・記録は正式記録とします。
- 2) 1)において、登録人数が変わる場合は、カテゴリーを変更して出場することができます。着順・記録については正式記録とします。(受付時にメンバー変更を申し出てください。)
- 3) メンバーの増員は認めません。減員は認めます。(ただし、参加料の返金はできません。)

## 19、リタイア

- 1) 大会において選手の安全の確保は最も優先する事項です。万一レース前やレース中に体調がすぐれない場合は「勇気あるリタイア」も選択のひとつです。安全に楽しくレースを行ってください。
- 2) リタイアする場合、必ず近くのスタッフに「リタイア」する旨と「レースナンバー」を報告し、計測タグを本部までお持ちください。→計測テントには持っていかないでください。タグが反応してしまいます!
- 3) 走行中のメンバーがピットに戻らずリタイアした場合は、巡回審判員に計測タグを渡し、本部経由でタグを当該チームに渡します。その後、残りのメンバーで参加できます。着順・記録については参考記録とします。